

令和3年第7回栗原市議会定例会 一般質問【個人質問】 通告表

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
1	14番 佐藤 悟	1 労働政策	<p>1 人事委員会勧告について。</p> <p>(1) 市の特別職員、一般職員について。</p> <p>① 現行の月額給与、年間給与、期末勤勉手当それぞれの平均の額。</p> <p>② 勧告通り実施した場合の月額給与、年間給与、期末勤勉手当それぞれの平均の額。</p> <p>③ 期末勤勉手当の引き下げは行わず、現行通りとすべきであるがどうか。</p> <p>(2) 会計年度任用職員の処遇改善について。</p> <p>① 賃金の引き上げが必要である。どう行うのか。</p> <p>② 期末勤勉手当の支給率は、現行通りとすべきであるがどうか。</p> <p>2 最低賃金制について</p> <p>(1) 市の広報紙等で広くPRに努め、趣旨の徹底を図るべきであるがどうか。</p> <p>3 看護師・介護福祉士・保育士等、医療・介護・福祉事業(所)の従事者の処遇改善について</p> <p>(1) 看護師・介護ヘルパー・介護福祉士等について、令和3年度(令和4年4月1日現在)</p> <p>① 平均賃金(月給)は、いくらか。</p> <p>② 賃金の格差是正、大幅な引き上げが必要であり、対応はどう行うのか。</p>
		2 交通安全政策	<p>1 自転車通学の安全対策について。</p> <p>(1) 自転車通学の利用基準はどうか。</p> <p>(2) 自転車の保守・定期点検はどうか。</p> <p>(3) ヘルメット着用、交通ルールなど交通安全教育は、どう行っているか。</p> <p>2 自転車損害賠償保険への加入促進について。</p> <p>(1) 損害賠償保険への加入者(台)数はどうか。また、加入の促進を行っているか。</p> <p>(2) 損害賠償保険料の助成を行い、加入の促進を図るべきと考えるが、どうか。</p>
		3 教育政策	<p>1 「学校図書」・「学校司書」について。</p> <p>(1) 「学校図書」の蔵書数、更新数、貸出し、活用状況はどうか。</p> <p>(2) 「市立図書館」との連携は、どう行われているのか。</p> <p>(3) 子ども達の成長に寄与する「学校図書(室)」の更なる有効活用を促進する為に「学校司書」の配置をすべきであるがどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		4 衛生政策	<p>1 一般ごみ処理について</p> <p>(1) ごみ処理の現状について、以下の点を伺う。</p> <p>① ごみの排出量 (家庭ごみ、事業系ごみ)</p> <p>イ、燃やせるごみ ロ、燃やせないごみ ハ、粗大ごみ ニ、資源ごみ ホ、合計</p> <p>② 資源化量と資源化率</p> <p>③ 最終処分 (埋立量、最終処分率)</p> <p>イ、可燃ごみ 焼却残渣 (焼却不燃物、固化ダスト) ロ、粗大不燃物 ハ、合計</p> <p>2 し尿処理について</p> <p>(1) 生し尿・浄化槽汚泥の処理量、合計。 (令和2、3年度)</p> <p>(2) 汚泥の検査と処分、活用方法。</p> <p>(3) 排水の検査と放流方法。</p> <p>3 「生活排水処理事業計画」について</p> <p>(1) 水洗化人口、生活排水処理率 (%) の実績値。 (令和2、3年度)</p> <p>(2) 令和10年度までの、水洗化整備計画と目標値はどうか。</p> <p>4 最終処分場について</p> <p>(1) 令和2年度、令和3年度 (直近まで) の以下の点を伺う。</p> <p>イ、埋立容量 ロ、残容量 ハ、残容量のパーセント</p> <p>(2) 終了年の (令和13) 年以降の整備計画 (候補地等) は、どう行われているか。</p>
		5 道路政策	<p>1 市道等の整備計画について。</p> <p>(1) 私道から市道への変更の認定基準はどうか。</p> <p>(2) 以下の市道等について、整備の「基本計画」「実施計画」の概要、進捗状況はどうか。</p> <p>1、沢入留場線 2、高田地区生活道路 3、荒田沢線・上萩沢線 4、留場中川原2号線 5、横須賀線</p>
2	12番 阿部 貞光	1 令和4年産作付にむけ誘導策は万全か	<p>1 農林水産省は令和4年産の主食用米について、需要に見合う生産量は675万tとの見通しを示している。過去最大規模の6万3千haの作付転換となった。令和3年に次ぐ転換を強いられることになる。また、政府では米の転作助成の柱となる水田活用の直接支払交付金の見直しを行っている。見直しにより、今後耕作放棄地や荒廃農地がさらに増加するのではと懸念される。そこで次の点について伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(1) 米の転作推進の柱となる水田活用の直接支払交付金の対象農地の見直しが行われたが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 耕地面積・遊休農地・荒廃農地の推移を伺う。(H30、R1、R2)</p> <p>(3) 水田活用の直接支払交付金の交付対象が水田に稲の作付をする事が条件に付されたが、現在、転作作物が固定されている面積と品種の状況を伺う。また、市内で畑として使用されている水田の面積はどれくらいか。</p> <p>(4) 高収益作物次期作支援交付金の募集が行われたが、対象農家数と申請数・交付件数・周知はどう行われたか伺う。</p> <p>(5) 水田活用の直接支払交付金のメニューに水田農業高収益化推進助成があり、都道府県が策定した水田農業高収益化推進計画に基づき、高収益作物の導入・定着等を図る取り組みを支援するとしている。宮城県においても、令和2年4月本計画が策定され2市2町が取り組んでいるが、栗原市としての考えを伺う。(なぜ取り組まないのか、課題、今後について)</p> <p>(6) 地域農業を担う営農支援事業を創設し、3年目になるが、令和元年から令和3年までの申請・交付件数は年毎にどうか。また、使いにくいとの声があるが改善点は。さらに補助率の引き上げを求めるがどうか。</p> <p>(7) 新農業人及び中小規模・家族経営体等活躍支援事業の実施経営体の募集が行われている。この事業は「みやぎの農業多様な人材活躍推進事業」の中のメニューの一つであるが、申請件数と採択要件は今回の補助対象者から人・農地プランの中心経営体や農地中間管理機構から貸借権等の設定を受けている方は除くとされている。市内、人・農地プランの中心経営体数と、中間管理機構から貸借権の設定を受けている経営体数の状況を伺う。</p> <p>(8) 今回の募集を見た認定農業者からは、国の補助事業は大規模経営体しか使えず、この事業を見ても中間経営体はいつさい補助を受けられないとの声が聞かれる。中間経営体への支援制度の創設を求めるがどうか。</p> <p>(9) 米価の安定をはかり、所得確保のためにも令和4年産の転作誘導は重要である。早期に農業者にビジョンを示すべきと考えるが、現時点での誘導策とビジョンの策定状況を伺う。</p>
		2 市民に寄り添った除融雪対策を	1 冬期間の除雪・融雪対策は、市民の安全・安心の確保に欠かすことの出来ないものである。今年度の除融雪が市民に寄り添った対策になっているか、次の点を伺う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(1) 除雪・融雪を行う業者の確保と車両台数はどうか。(地区毎に何社か。)</p> <p>(2) 歩道除雪への対応と除雪機台数(地区毎)を伺う。また、耐用年数と入れ替え時期も伺う。</p> <p>(3) 除雪車が来ないとの市民からの声があるが、除・融雪路線の確認は万全か伺う。</p> <p>(4) 除雪作業は危険を伴うが、下水マンホールや地下埋設物等の確認はどうか伺う。</p> <p>(5) 生活道路には農道や私道もあるが、除雪対応はどのようにしているのか。また、高齢世帯の雪かき等除雪対応も併せて伺う。</p> <p>(6) 通園バスの発着点となる幼稚園の除雪は、要請があれば対応するとの今年の2月定例会での答弁だが、打ち合わせ状況と対応について伺う。</p>
		3 公共施設の事業者利用時の許可申請と料金設定は	1 体育施設や公共施設の駐車場で、事業者による利用が見受けられる。施設は指定管理や直営による管理がされているが、許可申請と利用料金はどのようなになっているか伺う。
3	11 番 相 馬 勝 義	1 中核機能地域の整備について	<p>1 令和3年第5回定例会(9/24)において市長は同僚議員の質疑においては、「第2次栗原市総合計画後期基本計画内では困難」の旨、言及している。計画断念なのか、計画延期なのか。その真意を再度お聞かせ願いたい。</p> <p>2 公園整備計画が実施出来なくなれば、これまで計画実現を期待していた市民・当該地域住民・地権者等の関係者、とりわけ築館高校野球部グラウンド移転に向けて協議検討を積極的に進めている県(予算措置まで行っていると聞いているが)に対して、丁寧な説明責任があると考えますが、いかがか。</p> <p>3 公園整備計画が頓挫するのであれば、築館高校野球部グラウンドの移転整備及びこの野球部グラウンドの移転に関連して、県から要請受け計画された新グラウンドへの取付道路については、中核機能地域とは別枠で整備する必要があると考えますが、県との協議も含め、今後の整備方針について伺う。築館高校野球部で活躍する部員「栗原市民」である。この子ども達の危険かつ過酷な現状は一刻も早く解消してあげなければならない。市民の安全・安心を守る市長として、グラウンドの早期整備に向けて、県に強く働きかけていただきたいが、いかがか。</p> <p>4 平成27年9月の豪雨でも冠水した渋川一帯の排水対策についても、非常に重要な課題と考えているが、これも市長任期中には実施しない方針か伺う。</p>
		2 エポカ21アクア部門について	1 エポカ21は現在、アクア部門を休業している。これまで利用されてきた方々からは、再開の声が多く聞かれている。アクア部門の再開には多額の修繕費用が必要である。再開に向けて何らかの処置をとらなければ、今までの利用者の納得を得られないのではないかと考えるが、市長の見解を伺う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		3 国際リニアコライダー（ILC）誘致について	1 岩手・宮城両県にまたがる、北上山地が建設候補地の大型加速器「国際リニアコライダー（ILC）」の誘致実現に対し、栗原市はどう捉えているのか伺う。また、誘致が実現すれば、他方面にもビジネスチャンスが出てくるはずである。例をあげれば、技術者たちの移住や企業進出など、多くの人や物が動く。これらを見据え、栗原市も取り組みを積極的にアピールすべきと考えるがどうか。
4	19番 菅原麻紀	1 栗原南中学校大規模改修について	1 保健室、図書室、職員室、校長室が改修対象から外れていた。中学校に伺い現状を拝見したが、職員室は床も棚もだいぶ傷んでおり、先生方の机もぎっちり並んでいる。統合したことにより、先生方の人数も増えて、2人で一つの机を使っているところもあると聞いた。教育委員会に問い合わせたところ、職員室は重要な線などが入り組んでいて、移動は難しいので、そのうち…という話であったが、この機会に工事をした方が良く考えるがいかがか。移動するのが大変なのはどの時期にやっても大変である。やるとすればいつ頃を考えているのか伺う。 2 今回の大規模改修は耐久年数何年と考えているか。基礎自体は古いままであるので、何年まで使えると見越しているのか。もしその時期がきたら、今度は新築と考えているのか長期的な計画をお聞きする。 3 工事をするにあたり、学校、近隣住民、PTAの方への説明があったと思うが、一方的な説明ではなく納得のいく説明をされたのか。改修は、新築と違い、新しい設備をあらたにつけられず新築同様の状態にするとのことであった。しっかりと説明し、ご理解いただけたのか教えて頂きたい。
		2 学校のHPについて	1 9月の決算議会で、HPは各学校におまかせしているが、HP作成が苦手な先生、得意な先生がいるので更新がまちまちとのことであった。 先日確認したところ、ほとんどの学校は11月に更新されていたが、中には5月で止まっているところ、それ以上のところもあった。HPの担当は各学校で決めているとは思いますが、更新をする仕組み作りは作られているのか。いつ更新しているのか、誰がするのか、確認までがひととおりの流れと思うが、教育委員会で確認はしているのか。
		3 婚活事業について	1 だいぶコロナも落ち着いてきて、年明けには婚活事業をする予定と聞いている。今年の9月にみやぎ婚活支援センターがオープンしAIでのマッチングで手軽に婚活ができるようになったと感じている。ただ、年齢が20～49歳までの方が対象となっている。晩婚化している時代、市では是非50歳以上の方も入れたイベントなども考えて頂きたいと思うが、どのようにお考えか伺う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
5	2番 澤 邊 幸 浩	1 新型コロナウイルス感染における行動制限の緩和について	1 新型コロナウイルス感染禍において、「飲食」「イベント」「移動」については、規制が条件付きで緩和されている。栗原市においても、今後、新型コロナウイルス感染の行動制限緩和に向けて、どのような対応がなされるのか伺う。 (1) 今後、栗原市が主催するイベント等において、開催の是非も含めて、規制が緩和されていくのか。その対応について伺う。 (2) 栗原市内では、今年、昨年と、イベント等においては、新型コロナ感染拡大の懸念から、各地域で、自粛・中止の措置がなされた。今までは、各地域のイベント等においては、継続していくものと義務感にも似た観点で、開催されてきたものもあったのではないかと。一度リセットされた現在、特に、栗原市から負担金、補助金が交付されている事業については、主催者に対して継続していくのか、確認するべきと思うがどうか。 (3) コロナ禍での行動制限緩和の条件として、コロナワクチン接種も絶対条件といえる。栗原市において、2回目の接種済みが90%に近づく中で、3回目の接種が始まる。接種は決して強制ではないが、2回目の接種がなされていない方に、接種期限までに、あらゆる手段をもって周知していくべきと思う。行動制限緩和の観点からも、再度、周知を徹底してほしいと思うがどうか。
		2 米価下落に係る、稲作経営農家支援対策について	1 令和3年産米の概算金については、全国の米産地で大幅な下落となり、所得減少による稲作農家への支援対策が喫緊の課題となっている。新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、業務用米を中心に需要が落ち込んだことで、持越し在庫が高止まりし、今後も価格下落・低迷が続いていく懸念がある。 稲作農家、担い手経営体が将来の水田農業経営を展望できるよう、栗原市は今後どのように農政対策を推進していくのか伺う。 (1) 栗原市が策定する、第2次栗原市総合計画後期基本計画(案)において、新農業人及び中小規模・家族経営等活躍支援事業が計画されているが、事業内容について具体的に示していただきたい。 (2) 6次産業推進、栗原ブランド確立・支援事業について、今までも6次産業化、栗原ブランド確立がなされてきたが、今回の計画において、以前の取組みとどのような違いがあるのか伺う。 (3) 農産物等の物産販売のイベント主催団体や出店する事業者への助成について、どのような助成がなされるのか伺う。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		3 地域共生社会の実現における、障がい児の支援対策について	<p>1 第4期栗原市地域福祉計画(案)が策定される中で、計画の基本理念が「互いに支え合う、優しさと思いやりに満ちたまち」とされている。</p> <p>以前にも一般質問した、栗原市内の重症心身障がい児の医療的支援をお願いした経緯があるが、その中で、今年、市内の重症心身障がい児の家族が、急変時には市内では対応できないので、苦渋のなか、対応できる仙台市内に引っ越しされた。この事例を、やむ得ないことだと見るべきなのか。栗原市が目指す「地域共生社会」とは、この事例をもっても如何なるものか伺う。</p> <p>(1) 以前、栗原市においても、医療的ケア児に対応できる医療体制を持つことが計画されたと聞けるが、進展がなかったのは、どのような経緯があったのか。</p> <p>(2) 医療的ケア児に対して、民間の事業者の協力を得て、その医療体制を公民連携で運営を図るような事業形態はとれないか伺う。</p>
6	9番 菊地 広志	1 これからの栗原市の観光と物産について	<p>1 これまでは新型コロナウイルスの影響もあり、色々な施策を打てなかったのかとも思うが、この春、新しい体制になってから、「栗原市の観光と物産」の取り組みや展開が見えていないように感じる。そこで伺う。</p> <p>(1) 素晴らしい観光名所や、美味しい地元食材や名物がたくさん有る栗原に、外から観光客を呼び、観光地として活性化させていくため、今後具体的にどのような取り組みを進めていくのか。</p> <p>(2) 「一般社団法人栗原市観光物産協会」との連携については、この先どのように考え、どのように連携して活用していくつもりか。</p> <p>(3) 栗登一平4市町での連携や、ラムサール条約繋がりでの南三陸町との連携など色々な方法が有ると思うが、このような他市町との観光連携についてはどのように考えているか。</p>
		2 第三セクター運営での宿泊施設の在り方と今後	<p>1 市内の宿泊事業者の方々から話を伺うと、第三セクターで運営されている宿泊施設の動向により、多大な影響を受けている現状が有るとのことだ。公益性を担保しながら、持続可能な宿泊事業と健全な競争の為に、もう少し抜本的な見直しを検討しても良いのではないかと思う。そこで何点かお聞きする。</p> <p>(1) 民間宿泊事業者と、第三セクター運営の宿泊業者の共存共栄を目的とし、「ガンバレ!栗原市スポーツ・文化合宿支援事業補助金」を活用する場合に限り、交通面でのサポートはお願いできないものか。駅からスポーツ施設まで、スポーツ施設から宿泊施設までに特化した送迎サービスなどの補助制度は出来ないものか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(2) コロナ禍における措置として売上減少に伴う固定資産税の減免措置があったが、この先そういったことは考えてはいないのか。また、住民の健康増進の観点からは、プールや入浴施設こそ公益性があり、税金を投入しても存続すべきではないかと考えるが如何か。</p> <p>事業報告、決算報告を見ると部門別の事業報告は有るが、部門別の決算は分からないのか。プールや入浴施設に対する赤字額はどの程度なのか。現状は一社で複合施設を運営しているが、各部門に切り分け、民間に払い下げや、事業者を募る事は考えてはいないのか。</p> <p>(3) G o湯キャンペーンとビジネスホテル等、地元応援キャンペーンの助成率の違いについての判断基準はどこから来たのか。G o湯キャンペーンは温泉宿泊施設に7割補助、一方のビジネスホテル等地元応援キャンペーンは宿泊料の1,000円の補助であり、2,000円の地域クーポンは宿での利用は出来ない状況だ。クーポンの利用先については、なぜ宿泊施設での利用は認められないのか。</p>
		<p>3 市内商工業者、商店などへの今後の支援策について</p>	<p>1 現在、新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少した店舗等を運営する事業者には「中小企業等事業再構築促進事業」や「持続化補助金」(通常枠)「ものづくり補助金」等の事業があり、近隣の市においても補助金の申請方法や額は違うが、同じような補助事業を行っているところもある。そこで何う。</p> <p>(1) この先、栗原市ではどのような対策や支援策を考えているのか。また、今の状況について、市として商工業者や商店経営者からヒヤリングなど、経営状況の聞き取りなどは行ったことはあるのか。伺ったのなら、それらの内容(要望等)はどのようなものだったのか。</p> <p>(2) 10割増し商品券事業や、温泉宿泊7割引キャンペーンも経済の活性化には良いとは思いますが、その他の商工業者や商店への販路拡大の支援や、新製品・新技術の開発への取り組みなど、持続化事業に要する経費の一部について、予算の範囲内で、通年で利用できる補助金を支援する事業を行ってはどうかと思う。</p> <p>また、大崎市では新型コロナウイルス感染症の再拡大により、事業収入が減少している事業者の事業継続を下支えするため、支援金を給付する「大崎市中小企業者・小規模企業者等事業継続支援金」などを行っているが、栗原市ではそのような事業を行う考えは無いのか。</p> <p>(3) 市内にたくさんある空き店舗を、何か有効活用できないかと思う。空き店舗を利用したの起業や創業支援など、市では何か対策や施策は考えているのか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
7	16番 高橋 渉	1 築館高校野球部グラウンドの移転について	<p>1 現在のグラウンドは築館インター工業団地に隣接している。グラウンド移転は工業団地を拡充することにより企業誘致に一層の弾みがつくものと期待される。</p> <p>令和2年度に、中核機能地域構想が計画された。その中で宮野地区は生活創造拠点として整備の対象となっており、特に、防災ヘリポートの設置が組み込まれていた。この防災ヘリポートについては必要であるものとする。ドクターヘリの必要性からも野球部グラウンドの一刻も早い整備が望まれる。</p> <p>築館高校に隣接するグラウンド予定地については、渋川一帯の排水対策、それに伴う浸水被害の要因分析を実施しているものと推察される。この事は単にグラウンド整備だけにとどまらず、宮野地区の商業、生活圏にも関わる事業である。以上の観点から質問する。</p> <p>(1) 野球部グラウンドの移転について、県教育委員会との折衝が行われていると推察されるが、現在の状況は。</p> <p>(2) 現在のグラウンド移転跡地を築館インター工業団地として活用すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 事業の進捗が遅いと思われる。何故遅いのか、懸念すべきことは何か、又、その解決にはどのような様に対処しているのか、県から説明はあるか。</p> <p>(4) 市内のヘリポートの場所は何箇所か。また、栗原中央病院付近へのドクターヘリのヘリポート設置については、どのように考えているか。</p>
		2 18歳未満への一律10万円の支援について	<p>1 支援の内訳としては現金で5万円、クーポンで5万円となっているが実施については自治体の裁量にまかされている。クーポンについては、地域経済が潤うことを考えるべきである。今後も市や県、国の支援が続くものと考えた時、その対処する事務が益々繁雑になる。それを軽減する一つの方法としてはマイナンバーカードとの紐づけが求められる。マイナンバーカードの普及を急ぐべきではないか。以上の観点から質問する。</p> <p>(1) 国からの指示がどのようなものであろうとも、様々なパターンを想定し、シミュレーションを行い、素早く対処できるようにしておくべきと考えるが、市はその準備をしているのか。</p> <p>(2) マイナンバーカードの普及についてはどのように考えているのか。</p>
		3 コロナ禍におけるイベント等の規制の解除について	<p>1 本年11月宮城県はイベントやスポーツ大会などの規制解除を発表している。マスコミの報道によると企業の7割程が忘年会は自粛の方向である。栗原市民にとってもイベントや忘年会にどのように対処すべきか悩んでいる状況ではないか。以上の観点から質問する。</p> <p>(1) 栗原市独自の規制解除を考えるべきではないのか。</p> <p>(2) 忘年会などについての対応、又、職員に対しての働きかけは考えているのか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
8	23 番 高 橋 勝 男	1 保育所、幼稚園、学校施設における安全・不審者対策は万全か	<p>1 登米市の認定こども園に刃物を持った男が侵入した事件を受け、他の市町村では、不審者への対応訓練などが行われているが、栗原市の対応はどうなっているのか。また、盾やさすまた等の防犯安全器具の配備や使用方法などの訓練は行われているのか。</p> <p>2 学校には、学校の様子を探る人や嫌がらせ等、不審な電話が来ているようである。危機管理の一つとして、ナンバーディスプレイに対応し、「会話は録音させて頂いております」位の音声流れるようにすべきでは。</p> <p>3 先の 9 月議会でも、通学路の安全確保に向けた点検の取り組み状況について伺っているが、安全対策が必要と確認された危険箇所はどの程度あるのか。</p>
		2 栗駒山紅葉シーズンの渋滞対策とRVパーク新設について	<p>1 栗駒山の紅葉シーズンの渋滞対策として、シャトルバス運行し、観光客の利便確保に努めているが、利用者数はどのような状況なのか。</p> <p>2 今年は、迷惑駐車によってシャトルバスが運行できない状況が発生した事から、急遽、県と市で迷惑駐車対策用の看板を設置するなどの対応をしたようだが、来年に向け、どのような対策を検討しているのか。</p> <p>3 市・県・警察等との連携はどうか。いこいの村栗駒跡地からいわかがみ平を土日、祝日限定で夕方 17 時から朝 6 時まで車両進入を禁止するなどの交通規制も必要ではないか。</p> <p>4 令和 4 年度からの山脈ハウス指定管理者の募集及び応募状況はどうか。</p> <p>5 安価な初期投資で済むRVパークの新設をハイルゲーム栗駒及び山脈ハウスの駐車場の一部を利用して検討すべきと考えるが如何か。</p>
		3 放射能汚染牧草等の処理をどう進めるのか	<p>1 栗原市の汚染牧草の処理は、堆肥化で進めていく方向で進めてきていたが、市長は、堆肥化処理と合わせ、すき込み処理も検討するという事で、当面 1 キログラム当たり 400 ベクレル以下で、住宅から 30 メートル以内に保管されている汚染牧草のすき込みを令和 4 年度に実施する方向で進められていると認識している。</p> <p>令和 4 年度にすき込み処理予定の数量は、45.99 トンで汚染牧草全体の 2,413.57 トンからすれば 1.9%とごく少量である。残る汚染牧草、400 ベクレル以下は、961 トン、400 ベクレルを超える 1,407 トンの処理については、どのように進めていくのか。</p> <p>また、堆肥化処理施設建設予定候補地の選定状況についても伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		4 燃料費高騰に伴う、デマンド、市民バスの契約単価の見直しを	1 原油価格の高騰により、ガソリン・軽油・灯油などの価格が大きく引き上げられ企業活動や国民生活に大きな影響が出ている。栗原市が運行契約している、デマンド交通及び市民バスは、令和3年度から5年度までの3年間で、運行委託料の算定基礎となるガソリン及び軽油単価は、令和元年度の県内平均価格を算定基礎としているが、ここに来て、大幅に値上がりをしている。契約単価の見直しをすべきと考えるが如何か。
9	20番 三浦善浩	1 スマホやタブレットのさらなる有効活用を	1 スマートフォンやタブレットは、私たちの生活にとって便利で必要なツールとなっている。 また、教育の現場では、児童・生徒に一人一台のタブレットを使つての授業も行われている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 図書館の利用カードに変えて、図書館アプリを導入してはどうか。(市民の利便性の向上〈例えば、蔵書の検索や貸し出し予約など〉や館内の密集を避ける新型コロナウイルス感染防止策として) (2) 無料通信アプリLINE(ライン)を活用して児童虐待やドメスティックバイオレンス(DV)の相談を受け付ける事業を導入してはどうか。(電話や対面では通報しづらい相談者を支援するために) (3) 市内の小中学校の児童・生徒に一人一台のタブレット端末が配備されていることから、教員にいじめなどの相談が出来る機能(相談申告機能)を追加する事業を導入してはどうか。 (4) 市の情報を入手するのにスマホは、大変便利である。デジタル化から取り残される人を減らすという観点から、高齢者が従来型の携帯「ガラケー」からスマホに買い替える際の、購入費用を補助する事業を取り入れてはどうか。
		2 「命を守る」が ん対策を	1 国民の2人に1人が発症し、3人に1人が死亡すると云われている「がん」について、これまでも何度か質問しているが、以下の点について伺う。 (1) 早期発見が切り札といわれている「がん検診」に関して、コロナ禍で受診率の推移はどうなっているか(肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん等)。また、受診率向上への取り組みは、どうしているか。 (2) 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)の定期接種に関して伺う。 ① 昨年10月に国から対象者への情報提供に関する指示があったが、それに対する市の対応と今後の予定はどうか。 ② 市の通知実施世代における令和2年度の接種率および通知未実施であった令和元年度の対象者の接種率はどうか。(対象者数、接種者数は)

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>③ 積極的勧奨が再開されたことから、市では情報提供の方法についてどのような周知をしているのか。周知対象、周知方法について伺う。</p> <p>④ キャッチアップ制度が導入された場合に市では情報提供の方法についてどのような周知を予定しているのか。周知対象、周知方法について伺う。</p>
10	22 菅原 勇喜	1 くりこま高原駅前広場駐車場について	<p>1 長期放置車両について、業務委託契約書仕様書によれば、「(2) 駅前広場管理業務」の中に「リ長期放置車両や不審車両の確認と報告」とあるのみであるが、具体的には毎日どのような管理が行われてきたのか。</p> <p>2 令和元年9月30日から令和3年9月30日までの5回の業務完了報告書によれば、A、C、Dの有料駐車場に長期放置車両3台が報告されているが、正確な放置期間は把握されているか。 その期間の駐車料金はいかほどで、その請求、収納は為されているか。</p> <p>3 無料駐車場南側に2台、北側に5台の放置車両が報告されているが放置期間はいかほどと把握されているか。</p> <p>4 令和3年3月31日、同9月30日の報告書には「長期駐車車両」の報告がないが放置車両がなかったと理解してよいか。管理業務に変更があったのか。</p> <p>5 月極駐車場については契約者の場所指定を行い、番号で明示することにより容易に放置車両を把握することができるのでないか。また、空き状況も一目でわかるようにすべきでないか。 市当局は現在のやり方を踏襲するとのことだが、それでは放置自動車を確認する手立てが取れないのではないかと思料する。瀬峰駅駐車場の有料駐車場には番号を付しているではないか。同じような対応を求めるがいかかがか。</p> <p>6 エポカやくりでんミュージアムの駐車場は、時間外はロープを張って閉鎖している。大型店では、1日のうち朝晩2回巡回し毎日報告する体制をとっていると側聞する。栗原市営駐車場であることからしても、このような他の管理を参考にしながら検討されてはいかがか。</p> <p>7 平成11年以来有料化したがる、この間、収支残高合計はいかほどになっているか。撤回した条例(案)では「受益者負担を求める」考えであったが、そうであれば、その残高は駐車場管理に限定されるべきものとするがこれまでどのように処理されてきたのか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		2 带状疱疹ワクチン接種助成制度の創設を	1 平成 28 年 3 月から、带状疱疹ワクチンが接種できるようになり、現在では 2 種類のワクチンがあるとのことだが、接種費用、1 回接種が 8,000 円、2 回接種の場合は 44,000 円と高額である。名古屋市をはじめいくつかの自治体で带状疱疹予防接種の費用助成が始まっているとのことだが、これら先進事例に学んで栗原市においても助成事業を取り組まれてはどうか。
		3 第 2 次栗原市総合計画後期基本計画(案)と財政運営について	1 令和 8 年度までの財政指標のうち実質公債費率が 6.4~6.7、将来負担比率が 49.1~55.8、財政調整基金、地方債の年度末残高もこれまで議会に示されてきた範疇にあると理解する。 市長は中学生までの給食費無料化や小学校の 25 人学級などを公約してきたが、当然、これらの公約実現を見込んでの財政計画と理解するがどうか。 2 給食費無料化、25 人学級は実施計画で明らかにされるものと考えているが、具体的なスケジュールと財源を明らかにされたい。 3 市道、生活道路の改良目標も示されているが、市民からは最も身近なインフラ整備として期待されている。具体的にどのように取り組んでいくのか。
1 1	4 番 佐々木 嘉 郎	1 明日の栗原づくりに向けて	1 栗駒山の渋滞対策について。 新聞報道によると、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が解除されて最初の土曜となった 10 月 2 日、いわかがみ平駐車場は午後 4 時過ぎから車が増え、2 時間後には約 100 台が埋まり満車になった、とある。このことでシャトルバスの転回が出来ず大渋滞したようだ。来年からの改善に向け、聞きたい。 (1) 駐車場(いわかがみ平)、県道築館栗駒公園線の管理はどこが担うか。宮城県警の協力はどうか。しっかりした協議を望むが、実態はどうか。 (2) 渋滞対策の委託先とは、十分な協議はあったかどうか。 (3) 旧いこいの村臨時駐車場のトイレの設置については、どう考えるか。 (4) 環境保全協力金については、来訪者の理解を得られたか。 (5) 平成 28 年から令和 2 年までのいわかがみ平の観光客入込数はどうであったか。今年の紅葉期の入込数は把握しているか。 (6) シャトルバスの運用時間を見直してほしいという要望があるが、考えはどうか。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>2 オートキャンプ場整備について。 かつて主流だった大型観光バスに揺られ、団体で名所旧跡を回る旅の形が、現在では、個人の趣味や好奇心を満たすようなものへと変化しているようだ。グランピングと呼ばれる形式やオートキャンプなど様々な方式があるようだ。本市でも取り組んでみてはどうか。</p> <p>3 子供の安全どう守る。 登米市のこども園に刃物を持った男が侵入する事件があった。幼保施設や小中学校の不審者対応マニュアルは大丈夫か。訓練はどうなっているのか。</p> <p>4 燃料費の高騰について。 ハウス栽培農家では、暖房用燃料費の高騰で経営が大変だという声を聞いた。燃料費補助は考えられないだろうか。</p>
1 2	18番 五十嵐 勇	1 くりこま高原駅 駐車場管理の方向性について	<p>1 くりこま高原駅は栗原郡民の一丸の願いとして設置された請願駅であり、今まで駐車場の無料化、低料金等により、利用者を確保するため努力を重ね、当初の推定利用客を大幅に上回っており、今や高原駅なくして栗原の住民生活は考えられない現状である。以下伺う。</p> <p>(1) 料金精算機等の老朽化も進んでいる中、仮に更新するとなると経費はいくらかかるのか。</p> <p>(2) 現在の無料、時間貸、月極貸の3パターンを将来的に無料と月極貸の2パターンとし、料金精算機を撤廃し、それらに関係する委託業者との契約をなくすべきと思うがどうか。</p> <p>(3) 今までの委員会の中で防犯上の観点からカメラの設置予定箇所が示されたが、3つの無料駐車場のうち、1ヶ所には設置、他の2ヶ所は未設置とあるが、すべてに設置をするべきと思うが、どうか。また、設置をする1ヶ所については、今後有料駐車場にするという前提で設置計画となっているのか。</p> <p>(4) 前回の定例議会で議案として、料金の値上げ、一部無料駐車場の有料化の条例改正案が提案され、それが総務常任委員会に付託審査となり審査の結果全会一致の反対となり、その後、市長から検討が足りなかったとして議案撤回となったが、総務常任委員会の全会一致の反対をどう捉えているか。</p> <p>(5) 今後も利用しやすい、利用される駅として栗原への定住化促進、他産業の進出など栗原地域の活性化に市民一丸となって頑張っていくことが大事であると思うが、市長の見解を伺う。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
13	10番 濁沼一孝	1 第2次栗原市総合計画について	<p>1 栗原市後期基本計画の中の将来像として、5つの基本方針が示されている。その一つとして、美しい景観を守り、豊かな自然と共生した多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成するとして、施策の中の②に、地域の生活基盤の向上と、都市機能が集積された市の中核地域を形成し、魅力ある田園都市を目指すとある。次の質問を伺う。</p> <p>(1) 整理番号6の高速交通網を構築する道路整備として市道栗原中央西線道路整備であるが、令和4年度で1億100万円の事業費であるが内容を伺う。</p> <p>(2) 整理番号7の地域間交流促進を図る道路整備で市道辻前遠堀線(2期)、市道山子線道路整備事業を計画されているが、事業費の内訳を伺う。</p> <p>(3) 整理番号9の都市計画街路事業の都市計画道路一迫南線、都市計画道路駅前大通線整備事業の内容を伺う。</p> <p>(4) 市道小屋敷線は何十年前に舗装されたかは分からないが、現在は車輪の通る所はギザギザに割れて乗用車で通行をする車底に接する所も何ヶ所か見られる。この道路は地域と地域を結ぶ交流道路と考える。また、両側の立木は道路にはみだしており、トラックなどは非常に危険である。早急に整備が必要と考えるが見解を伺う。</p>
		2 地域の特性を生かした、産業や交流が盛んなまちを創るため	<p>1 将来像4の施策の中の①で将来にわたり、持続可能な農林業を目指し、多様な経営感覚を備えた農業者等の育成を図ると位置付けている。次について伺う。</p> <p>(1) 整理番号124、地域を担う営農支援事業で水田農業用機械の取得経費の補助があるが、5年間で1千万円である。1年で200万円であるが補助の内容を伺う。</p> <p>(2) 整理番号125、農地草刈り支援事業で農地の草刈り業務を委託する高齢者に対する支援であるが、事業の内容を伺う。</p> <p>(3) 整理番号143、野生鳥獣対策事業で事業内容が4件あるが、それぞれ事業費はいくらか伺う。</p> <p>(4) 整理番号150、有害鳥獣減容化処理施設整備事業で建設等に対する補助の内容を伺う。</p>
		3 コミュニティセンターについて	<p>1 栗駒滝ノ原コミュニティセンターの土地は地元で取得し、建物は旧栗駒町から助成金として300万円を頂き建設した建物である。そこで伺う。</p> <p>(1) 当センターは地域の所有物か市の所有物か。</p> <p>(2) 雨樋だけではなく、外壁も塗装する時期になっている。それらは地域で直さなければいけないのか。</p> <p>(3) 万一事故にでもなったら、誰の責任になるのか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(4) 地域で維持できない場合、このまま利用しているのか。</p> <p>(5) 滝ノ原コミュニティセンターは市の避難場所でもあることから、市長の見解を伺う。</p>
14	8番 小野久一	<p>1 令和2年度決算審査意見書における指摘事項について</p> <p>2 イノシシ、クマ、シカ等の被害防止対策を積極的に</p>	<p>1 令和2年度決算審査意見書の総括において「特に補助金については、補助の目的、有効性、公平性の観点から、現在取り組まれている第3次栗原市行政改革大綱推進プログラムに基づき見直しを講じたい。」と指摘されているが、具体的にどのような見直しを求めているのか。</p> <p>2 地方自治法第1条の2第1項は「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」と規定している。 「住民福祉の増進」「住民サービスの向上」のために栗原市は存在しており、そのために公平で有効性のある補助金の交付がされていると認識しているが、監査委員からすれば、そうではないということか。</p> <p>3 監査委員からのこの指摘事項に対する市長の所見を伺う。</p> <p>1 直近のイノシシ、クマ、シカの出没状況、被害の内容と被害額はいか程か。また、それぞれの箱罾、くくり罾の設置状況と捕獲頭数はいくらか。</p> <p>2 電気柵の設置数は何件か、補助金の申請者がもれなく交付の対象となったか。</p> <p>3 猟友会の協力の基に一斉に山に入り、捕殺することはできないか。</p> <p>4 新聞報道によると、イノシシのくくり罾に誤ってクマの手・足が入るために、くくり罾の形状を変え小型にするという方針が出たことで、今後イノシシの捕獲に大きな影響が出るということだったが、その後の状況はどうか。</p> <p>5 環境省はニホンジカとイノシシの頭数管理に向けて県境をまたぐ捕獲を推進するため、都道府県間で連携した場合の交付金を増額する方向で検討に入ったと聞くが、情報は入っているか。</p> <p>6 捕獲した害獣処分施設とジビエ食肉加工施設の整備が求められている。大崎市では独自に具体化するとのことであり、栗原でも市独自に検討すべきでないか。第2次総合計画後期基本計画で有害鳥獣減容化処理施設整備事業が新規で計画されているが、どのような内容か。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		3 国保税の子どもの均等割徴収はやめるべき	<p>1 国民健康保険会計における直近の資格証明書、短期被保険者証の発行世帯数を伺う。また財調基金、国保税の今後3年間の見通しを示せ。</p> <p>2 現在の均等割額はいくらか。子どもの均等割の徴収は少子化対策、子育て支援に逆行することであり、やめるべきである。国において2022年度から未就学児均等割の5割軽減が実施される。市独自の軽減措置として、さらに5割軽減し均等割を0にして、子育て支援を強化すべきでないか。 市独自の支援策として未就学児の均等割を0にした場合の市が負担する5割に必要な財源はいか程か。さらに、小学校6年生までの5割軽減、中学3年生までの5割軽減を実施した時に必要な財源はいか程か。</p>
		4 住民要望の実現を	<p>1 市内での防犯灯設置の要望は何箇所か。第2次総合計画後期基本計画では防犯灯整備事業に5年間で500万円計上されているが、1年での設置予定数と要望解消年次を示せ。</p> <p>2 栗駒田町地区には住宅地内に、距離15メートル程、深さ3メートル程の土水路の大排水路があり、どこでも維持管理をしないので、春から秋にかけては悪臭と雑草の繁茂を解消すべく、高齢者3人で作業をされている。整備をして安心して暮らせる環境をつくるべきでないか。</p>
		5 「水田活用の直接支払交付金」の見直しによる影響は	<p>1 「水田活用の直接支払交付金」は、主食用米から加工用米、麦、大豆、ソバなどへの作付転換に対して、面積に応じて交付するものである。今回、農水省は対象農地から今後5年水張りをしていない水田を交付対象から外す方針を決めたが市内農家への影響はどれ程か。</p>
15	21番 尾形勝通	1 「仮称」高清水中学校廃校利用プロジェクト設立について	<p>1 旧高清水中学校跡地利用については住民の関心が高く、2019年11月より跡地利用を考える有志の会が発足し、今日まで数回の会合を重ねてきたが、住民側、利用者側の話し合いだけでは限界があると考え悩んでいる。そこで細目を質問する。</p> <p>(1) 地元前市議会議員が4回にわたって一般質問し「地区住民との意見を聞く会を設けて欲しい」との要望に対し、全回とも「地域住民の意見を聞き協議をすすめていく」と答弁しているのに、いまだ実現しない。意見交換会はいつ行うのか明白にしていきたい。</p> <p>(2) 旧中学校体育館は「原子力災害時における住民の広域避難に関する協定書」に女川町からの避難施設となっていたが、その後、女川町の人口も減っているの見直しが検討されているはずだが、その結果はいかに。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>(3) 加美町の旧旭小学校は 2019 年廃校となったが、当町では廃校利活用を検討する等の目的で「地域運営組織」を設立。本年 11 月には利活用を探る若手住民による「旭プロジェクト」が中間報告書案をまとめた。当初から町が深く関わり当プロジェクトを支援している。この加美町の「旭プロジェクト」を参考事例として、「仮称」高清水中学校廃校利用プロジェクトを地域住民と市が協働で立ち上げるべきと要望するが、市長の考えを伺う。</p>
		2 六角牧場風力発電事業について	<p>1 六角牧場風力発電は札幌市の事業者等が事業目的会社「川渡風力発電」を設立し、栗原市と大崎市にまたがる東北大川渡フィールドセンターの牧場跡地に計画され、高さ 200 メートルの風車、最大 20 基設置の計画が進められている。</p> <p>計画地は大崎市鳴子と栗原市花山地区にまたがっているとはいえ、大半は栗原市と聞いているが、当該地域住民への環境影響被害が懸念されるので次の点を伺う。</p> <p>(1) 騒音等により健康への被害があるといわれているが、地域住民の健康リスクへの認識を伺う。</p> <p>(2) 宮城県を代表する観光地の栗駒山系と連なる鳴子温泉郷に景観破壊をもたらし、観光等への悪影響について、認識を伺う。</p> <p>(3) 一基 200 メートルの大規模風力発電施設は機材の運搬道や敷地確保のため森林伐採が行われ、土砂災害のリスクが高まると思われるが、その認識を伺う。</p> <p>(4) 「栗原市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」第 8 条の「抑制区域」に指定することが出来ると思われるが、見解を伺う。</p>
16	15 番 佐藤 文 男	1 市道、姫松・金田線の路盤改良を	<p>1 市道、姫松・金田線はこれまで、水道管敷設工事や大型車両の往来で、全線的に道路の傷みがひどく、車の安全な通行に支障をきたしているところがある。特に、旧姫松小学校から広域農道交差点までは、道路両側の路肩が道路中央部分より沈下がひどく、通行する車は大きく傾くため、対向車がないときは道路中央をまたいで通行している状態だ。</p> <p>また、大崩浄水場付近は道路の沈下が、波状に連続しており、車は大きくバウンドしながらの通行となる。</p> <p>他にも部分的な道路の損傷も多くあるため、安全な通行に支障がある。全線の点検と安全対策のため、路盤改良をすべきと思うがどうか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		2 市の集団検診に 高齢者の聴力検 査の実施を	1 健康な人でも高齢になると共に徐々に聴力は低下していく。難聴により、コミュニケーションがとりにくくなり、家族や社会から孤立し、生活の質や意欲まで低下して、認知症発症の大きな要因になるとも言われている。検診により自分の聴力を知ること、補聴器の使用などの対策が取れるため、認知症予防につながるものと思われる。 検診には、専門的な防音設備が必要になるかもしれないが、ある程度の防音設備が整っている公共施設もある。工夫次第では簡易的な検査は可能と思う。市の集団検診に高齢者の聴力検査を実施すべきと思うがどうか。
		3 市街地の除融雪 対策について	1 昨シーズンの大雪は、市民生活に大きな影響を与えた。今年も栗駒山は雪に覆われ始め、やがてその雪も間もなく里にもやってくる。大雪にならないことを祈るばかりだが、昨シーズンの反省に立ち、万全な除融雪対策を求める立場から以下の点はどうか。 (1) 市街地での除融雪対策は、地域の実情に応じた対応になっているようだが、今年も変わりはないのか。 (2) 市街地の道路を利用するドライバーからは、他と同じように除雪してほしいと要望がある。ロータリー除雪機とダンプカーとセットでの除雪はできないのか。 (3) 県道花山・一迫線の川口地区は街部全体に融雪溝が整備されている。昨シーズンは「融雪溝に水が流れてこない」との苦情が多く寄せられた。 維持管理をしている迫川上流土地改良区との協議はどうなっているか。
17	13番 高橋 将	1 育休に伴う保育 所の継続利用を 認めよ	1 子どもを保育所に預け入れしている保護者が、新たに子どもを出産後、新生児に係る育休を取得した場合、すでに保育所に通っている子どもの継続を希望しても、退園させられてしまうといった相談を受けた。 育休に伴う退園、通称「育休退園」についての考え方は、国の子ども子育て支援法の中で示されているが、その判断については最終的に自治体が決めるところとなっている。 今後の育児支援について市長に問う。 (1) 育休に伴う保育所の継続利用については基本的に継続可能としているか。 (2) 継続利用について他自治体ではどう対応されているか。 (3) 復職時に子どもが再入園した際、短い期間での入退園や転園による環境の変化は、子どもの発達上環境に留意する必要があると思うか。また、これに関わる環境の変化は子どもの発達上好ましいと思うか。 (4) 育休に伴う保育所の継続利用について基本的に継続可能とできないか。

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
		2 入院時のオンライン面会の拡充を	<p>1 栗原中央病院では院内でフリーWi-Fi やオンライン面会を取り入れており、コロナ禍での過ごし方を改善しようという動きが見えることは評価をするところであるが、現在の運用では課題がある。</p> <p>そこで、提案するのは、院内の Wi-Fi につながった面会用タブレットの貸し出し(事前予約制)を行い、アプリ上で患者と家族が面会できる環境を整えることで、入院患者が自分の病床からであったり、家族が遠方からでも面会できるなど、さらに利用しやすいものになると考える。</p> <p>病気で弱った患者の心の癒しと、それを見守る家族の安心につながる施策となることから、入院時のオンライン面会の拡充ができないか。</p>
		3 環境政策について考えを示せ	<p>1 伊豆沼は、水質汚濁の程度を示す COD 値が日本一となっている。全国の湖沼の中でも常に COD が高い状況だ。水質悪化の主な原因と考えられているのが、上流域からの泥の流入や農地からの排水、沼で過剰に繁茂した植物の枯死体である。栗原の観光資源として伊豆沼も重要なスポットであるが、環境の面から見れば COD 値が高いことは許容すべきでなく、水質改善策が必要とされる。</p> <p>(1) 伊豆沼の環境改善についての考えを示せ。</p> <p>2 伊豆沼の水質汚濁の主因と考えられる農業排水だが、現在使われている農薬の中にはネオニコチノイド系の農薬も多く使われていて、排水の中にはこの成分も混ざっている。ネオニコチノイド系農薬の長期使用はやがて、生物界への影響を深刻化させ自然のシステムを崩壊する可能性もある。そのため、地域におけるネオニコチノイド系農薬の環境水中の濃度把握やリスクの評価は極めて重要であると考えられる。</p> <p>(1) 市内の環境水中での濃度把握やリスク評価などの調査状況はどうか。</p> <p>(2) 今後のネオニコチノイド系農薬使用について考えを示せ。</p> <p>3 市での有機農業推進の具体的な取り組みとして、有機米を子どもたちの学校給食に取り入れることで、次代を引き継いでいく子どもたちへの環境教育、また、市民の環境への理解や関心の深化、新規の有機栽培農家の開拓、有機栽培面積の拡大へと施策が有機的につながるよう実施し、環境負荷が軽減された持続可能な農業の実現を目指すべきである。</p> <p>(1) 今後の有機農業の推進への考えを示せ。</p> <p>(2) 取り組みとして学校給食への有機米の提供は考えられないか。</p>

発言 順位	質問者 (議席番号及び発言者)	質問事項	質問要旨
			<p>4 9月定例会の一般質問において、減災に寄与する田んぼダムの市の考えを示された。</p> <p>田んぼダムに取り組む上での課題として、畦畔の高さや強度、田んぼの面積や均平、降雨時における適時的確な農家単位での協力が可能かなど、運用への懸念もあると思われる。今後、周知を図る上で紙ベースや口頭で伝えられる内容には限りがあることから、実際に視察できる田んぼダムモデル地区を市内に指定することが、農家の懸念や疑問を解消させる最大の周知になるのではと考える。</p> <p>(1) モデル地区として考えられる場所はあるか。</p> <p>(2) 基盤整備済みの地域や、今後、基盤整備に取り組む地域へ田んぼダム導入の積極的な働きかけをしてはどうか。</p>

※ この要旨は、各議員から提出された通告書の要点をまとめたものです。